

### 3 自然動態

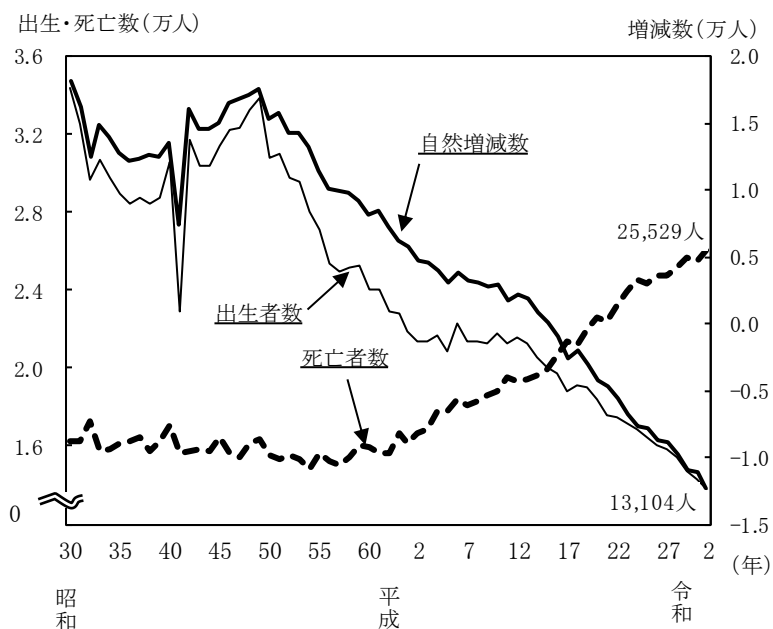
自然増減数 △ 12, 425人 前年比 △ 120人

令和2年中の自然動態をみると、出生者数が13,104人で、前年に比べ646人減少し、死亡者数は25,529人で、前年に比べ526人減少しています。

昭和30年以降の自然増減数の推移をみると、昭和41年のひのえうまの大きな減少を除き、増減が繰り返されたものの、昭和49年まで増加傾向となっていました。その後急速に減少傾向となっています。

また、平成16年に死亡者数が出生者数を上回る自然減に転じてからは、17年連続で自然減となっています。（図6、5ページ 表2）

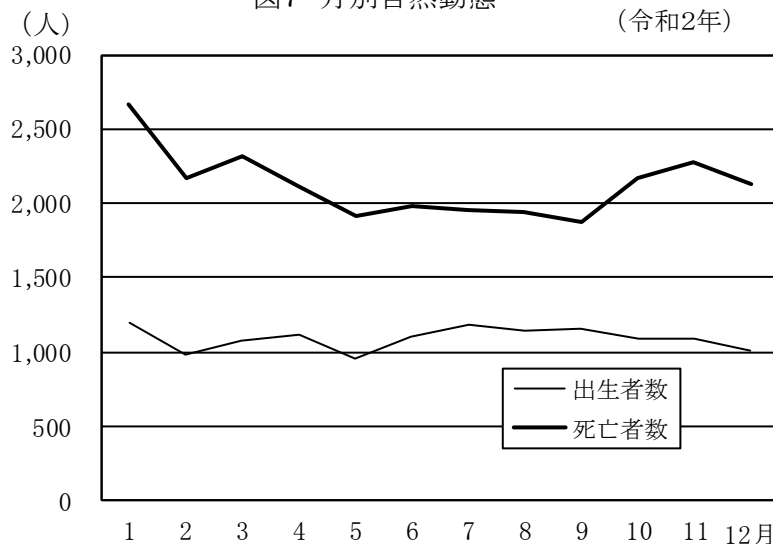
図6 自然動態の推移



#### 出生者数を上回る死亡者数

令和2年の各月の自然動態をみると、各月とも死亡者数が出生者数を上回っています。（図7）

図7 月別自然動態 (令和2年)



自然増加 1村 自然減少 76市町村

自然動態を市町村別にみると、1村が自然増加、76市町村で自然減少となっています。

自然増減率が最も高いのは、南箕輪村の0.11%となっています。

一方、最も低いのは、麻績村の△2.80%で、以下 根羽村△2.79%、天龍村△2.65%の順となっています。（6ページ 表3）